

台湾蘭嶼島（らんしょとう）の思い出

昭和41年（1967）卒業 元原燃輸送 内野克彦

日ごろ原子力の難しい問題や固い話に向かっておられる皆様の頭を余興で少しリラックスさせてあげたいと思い、私のつたない思い出話を投稿させていただきます。

核物質を輸送する会社に入社して主に放射線管理業務、警備、輸送方法等の開発に従事していました。その間観光、技術交流、コンフェレンスでの発表等で世界52ヶ国を訪問しました。（これは私の数少ない自慢の一つですが、しょっちゅう自慢しています。）約3割は通訳なしの1人での出張でしたので英語は必修でした。時には核物質輸送関係だけですが同時通訳をしました。特に台湾は政府及び、台湾電力会社の依頼により23回そして蘭嶼島には12回（日本人最多）行きました。別名「はだか島」と呼ばれ核廃棄物貯蔵施設があります。台湾政府より「核能（原子力）の友」として表彰されました。横地教授が高雄の放射線管理センターを訪問した際、廊下に私の写真が飾られていたのでビックリされたそうです。

島民のほとんどはヤミ族で高温多湿なため老人の男は禪（木の皮の繊維で織ったゴワゴワの物です。アカムクレチンタにならないか心配です）、女性は腰巻き姿です。老人達とは日本語で会話ができます。（高砂族は9族あり昔は、それぞれの言語で話していたので酋長会議は既に共通語となっていた日本語で行われていたそうです。）

島にはヤギが多く、黒豚、鶏、犬等がすべて放し飼いで道路、海岸の岩場を家族か恋人同士？で闊歩しています。島民はお互いに信用しあっていて、人の物は盗まない。困ったら助ける善良で友好的な人達です。

ある老人が針の無い古い腕時計をしていたのでどうしたのか訪ねると昔東京のセシマさんに貰ったとのこと、貴方は東京から来たのだからセシマさんを知っているだろう。（太平洋戦争時の陸軍作戦参謀であった瀬島龍三氏か？）今彼はどうしているかと聞かれました。私が知らないと答えると、本当に知らないのかと呆れていました。（島の人口は当時約2千人でほとんどが知り合いです。彼の全世界はこの島内であり、時間を気にする必要がなく昼と夜がわかればよいのです。時計は単なるブレスレットなのだと思いました。）

また、“トノシタ”を知っているかと聞かれ、知らないと言ったらそれでも

日本人かと叱られました。(帰国後、“殿下”のことかなと思いました。)

私が台湾で一番好きな食べ物は刀削麺です。島では、珍しい鶏の鞆丸料理をご馳走になりました。(私は鶉のゆで卵料理だと勝手に思いこみ全てを食べてしまいました。食後に鞆丸料理だと知らされました。鼻血ブーです。)本当はヤミ族の主食であるタロ芋を一度食べたいと思っていましたがなかなか機会がありませんでした。ある時、ヤミ族の老夫婦が農作業しており、その近くに昼食用として風呂敷の上にタロ芋が数個ありましたので、私は夫に一個譲ってほしいとお願いしたところお金は要らないと言われました。食べ終わって私がお金を風呂敷の上に置いたらその人は農作業しながらお金は要らないと再び大声で言いました。その気持ちがうれしいので、日本円で1万2千円程度に増額して、その場を小走りで立ち去りました。(島民は自給自足なので大金です。)翌年、私が島を訪れた時、昨年タロ芋1個に高額を支払った日本人がいたと聞かされた時、私は心の中でそれは私だと叫んだが口には出せませんでした。

ある時、一人の老人が私は日本人が大好きであると話しかけてきました。理由を尋ねると戦時中米軍の空襲が激しくなり小学校が山の中腹に疎開したが、日本人の教師はどんなに空襲が激しくとも命を惜しまずヤミ族の子供達の為に毎日通ってきてくれたのだと。(昔台湾人の多くは高砂族に教育は必要ないと思っていました)日本人の一生懸命なところが好きだと話していました。

島には特攻隊の基地がありました。ヤミ族の畑に滑走路を造れば簡単であったが、海岸の岩だらけの場所に苦労して造ったとのことでした。(日本人の優しさ)また、島の司令官は空襲で戦死したのではなくツツガ虫に刺され死亡したのだと言っていました。私はこれを聞いて急に蘭嶼島が恐ろしくなりました。以後、島では全身に樟脳油をたっぷりふりかけていました。誰も私の近くに寄ってこなかったのは言うまでもありません。

いつも、島を訪問する際、ヤミ族は男女を問わず愛煙家が多いことを知っていましたので、日本の煙草を沢山持って行ってあげていたのですが、あるとき島を離れるとき、余っていた煙草のすべてをポーッと飛行機を眺めていた老人にあげたところ、あなたはいい人、大丈夫飛行機は明日も飛ぶ(小型機なので風が強いと飛ばない)今夜は私の家に泊まりなさいと言われました。(ヤミ族の家は島が台風の通り道なので半地下の竪穴式住居です。以前、家の所にメスのカブト虫がいるのかと思ったら大きなゴキブリでした。ワイルドだろ!!)私は高雄で仕事があったのでお断りしました。現在、島では、反核運動が激しくなりました。当初台湾電力公司是島民に

核廃棄物ドラム缶の写真を見せ缶詰工場を建設するとごまかしの説明をして核廃棄物貯蔵所を設置したのですが、その後、ごまかしが露見して全面撤去させられることになりました。

私は毎日忙しく過ごしていますが、ビンロウ椰子（実は檳の実程度の大きさです、実を噛むとバイアグラになります。とても変な味ですが私は1分程度噛んでいられます。外国人では珍しいと言われました。口の中は真っ赤な血のような色になり、唾を吐くと血を吐いたと思われます。血液の循環が良くなり、体がカッカします。）やパパイヤの木が生い茂り、野生蘭が咲き乱れる美しい

蘭嶼島、過去に首狩りをしなかった少年のような純粋な心を持ったヤミ族の人達。私はまた時間が許せば島を訪れ、穏やかな島の自然の中で島の人達とゆっくりと時間を過ごしてみたいと思っています。

